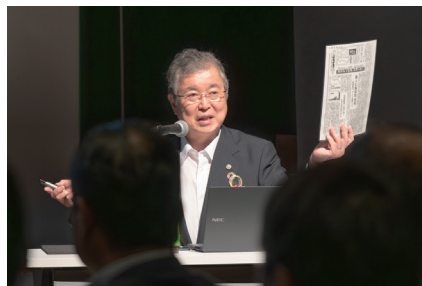




国土交通省 四国地方整備局
吉野川ダム統合管理事務所長
青木 研氏



ユニ・チャーム株式会社
代表取締役 社長執行役員 高原豪久氏



ユニ・チャーム高原社長が講演 四国中央紙フォーラム開催

8月22日、しこちゅーホールで「四国中央紙フォーラム」が開催されました。

「紙國の祭典」として、紙まつりや書道パフォーマンス甲子園と共に日本一の紙のまちを象徴するこのフォーラム。今回は、ユニ・チャーム(株)の高原豪久代表取締役 社長執行役員と国土交通省吉野川ダム統合管理事務所の青木 研事務所長の講演会がありました。

現在、約80の国と地域で事業を展開し、約1万6千人の社員を率いる高原社長。講演では、常に現場を大切にする経営方針や紙パンツの水平リサイクルなど、共生社会の実現に向けた取り組みを紹介しました。

また、青木所長は、本市の産業を支える銅山川分水のために、先人たちが乗り越えてきた苦難の歴史や治水と利水により、まちと産業を守るダムの使命について話しました。



森と湖畔の公園に新しい遊具誕生 ソロプチミストイースト愛媛寄贈

9月2日、森と湖畔の公園(金田町半田)の中央広場に、国際ソロプチミストイースト愛媛(好井光江会長)から寄贈された遊具「ちびっこマウンテン」が完成しました。

この日は遊具の除幕式が行われ、出席者らが見守る中、保育施設しゃぼん玉(上分町)の園児たちが初すべりを楽しみました。



12年の活動に幕 「昇華連」が活動資金を寄贈

昭和36年生まれの同級生で結成され、これまで紙おどりに花を添えてきた「昇華連」が、12年の活動に幕を下ろすことになりました。

8月26日、連を代表して小山靖孝さん(写真中央)と篠原成子さん(同右)が市役所を訪れ、「防災対策に役立てて欲しい」と、活動資金の残金を篠原市長に手渡しました。



オレンジ色の旋風を巻き起こせ ゲートボール四国中央チームが全国へ

5月に松山市で開催されたゲートボールの県大会で優勝した「四国中央チーム」(合田里士代表)が、10月5日から岡山県で開催される「全日本ゲートボール選手権大会」に出場します。9月9日に篠原市長を表敬訪問した同チーム。「県代表の名に恥じぬよう勝ち進みたい」と決意を語りました。



市民と行政の橋渡し 行政相談委員石川允雄さんに大臣表彰

9月4日、長年にわたり行政に対する要望などの解決と行政運営の向上に寄与した事がたたえられ、行政相談委員の石川允雄さん(下柏町)が総務大臣表彰を受賞しました。石川さんは、平成21年から現在まで、市民と行政のパイプ役として熱心に相談活動に取り組まれています。(20ページに関連記事)



106歳 鈴木さつきさん 市内最高齢をお祝い

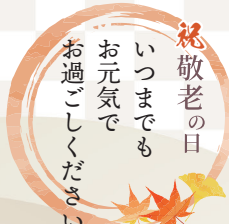
敬老の日を前にした9月4日、市内最高齢者の鈴木さつきさん(下柏町)をお祝いするため、鈴木さんが利用している「デイサービス喜楽」(川之江町)を篠原市長が訪問しました。

鈴木さんは大正7年生まれの106歳。デイサービスやハビリに

鈴木さつきさん(下柏町)

大正7年(1918年)生まれ
106歳

長生きの秘訣は歩くことと
何でも食べること



嶺南の恵みに感謝 てらの・金砂湖畔広場夏の感謝祭

8月18日、てらの湖畔広場(富郷町津根山)で「夏の感謝祭」があり、家族連れなどで賑わいました。

恒例のアメゴのつかみ取りには、今年も多くの子どもたちが参加。プールの中を素早く泳ぐアメゴに苦戦しながらも、家族の応援やアドバイスを受けて、懸命に捕まえていました。



一足早い秋の訪れ 翠波高原でコスモスまつり

8月18日、約30万本のコスモスが見頃を迎えた翠波高原(金砂町平野山)で「コスモスマつり」がありました。

標高が高く暑さもなく、ふんわりと高原には、朝から多くの行楽客が訪れ、遊歩道からコスモスを撮影したり、ステージイベントやバザーを楽しんだり、一足早い秋を満喫していました。



地域の「食」と「農」を体感 学校給食米を小学生らが収穫

8月24日、学校給食米「うまさだち」の収穫祭が土居町蕪崎の田んぼであり、市内の小中学生とその保護者ら約200人が黄金色の稲穂を刈り取りました。

4月にみんなで手植えた苗は、たわわにお米を実らせた立派な稲穂に成長。収穫後は、早速おにぎりにして、参加者みんなで頬張りました。



県指定無形民俗文化財 鐘踊り

8月25日、新宮町上山の大西神社の境内で「鐘踊り」が披露されました。見物客ら約200人が見守る中、22人の踊り子たちは、鉦や太鼓の音に合わせて華麗に舞いました。

鐘踊りは、戦国時代にこの地で戦死した領主・大西備中守元武の慰霊のために、江戸時代に始まったとされ、今日まで同神社の氏子らによって保存・継承されています。

県指定無形民俗文化財 畑野の薦田踊り

8月16日、土居町畑野の薦田神社の境内で「畑野の薦田踊り」が奉納されました。

戦国時代に落城した中尾城の城主・薦田備中守義定の慰霊のために奉納される薦田踊りは、同地区の小学生男子が楽器と踊りを、成人男性が歌を担う習わしとなっています。今年は3人の小学生が参加し、1時間かけて12曲を奉納しました。

ちよつとそこまへ 広報 SAMPO



市長の ひとりごと

秋深し、選挙は近づいてくるし大変である



四国中央市長 篠原 実

少しずつ、夏の暑さも遠くに行き、代わりに台風が次から次へとやってきている。今のところは、本市では、あまり大きな被害を出さずにすんでいるが、非常に心配である。特に今時は稲穂に実が入る時期で、刈入れが済むまでは大きな雨も、強い風もいらない。里芋も同様である。秋のお祭りが終わるまで、ぜひ大きな自然災害が起きないように心から願っている。一生懸命熱心に育ててきたものは、むごいぐらい一瞬にして吹っ飛んでしまう。秋のお祭りまで被害を受けなければ、本当に神様に感謝である。一方で、おかげさまで、時々降雨があり、ダムの水はほぼ満水に近い状態を保っている。これは、ダムの維持管理をしていたら、国土交通省と水資源機構の皆さまのおかげであります。できる限り今から水を蓄え、冬場の渇水期、水不足で苦労をしなくてすむよ

うに願うばかりである。本市では、市議会議員さんの選挙が近づいている。また、メディアの報道では、国政選挙も近づいているように思う。私の市長選挙もどのようにすればよいか、非常に頭を悩ましているところである。議員さんにとってみたら、選挙は4年に一度、自分の情熱や気持ち在必死の思いで込めて、パフォーマンスをするイベントである。それぞれの皆さま方も健康に注意しながら、悔いのない戦いをさわやかにやっていただいたらありがたいと思っています。ただ、時と場合によっては、選挙は戦いでもありますから、厳しい感情が混じってくる場合もある。明日の四国中央市のために、そして一緒に無事に、市民と一緒にやって四国中央市の未来をつくってほしいと願っています。



最先端技術を体感 GIGAフェスティバル初開催

8月25日、プログラミングやVR（仮想現実）など、児童生徒が最先端の技術と知識に触れるイベント「GIGAフェスティバル」が川之江小学校で開催され、市内の小中学生と保護者約300人が参加しました。愛媛大学と東京芸芸大学の協力により実現した今回のイベント。参加者は、レゴ社の教材「Spike」を使って、自ら組み立てたロボットの制御プログラムを競ったり、AR（拡張現実）技術を使った新時代のスポーツ「HADO」で、ゴール越しに現れたモンスターを仲間と倒したりして、楽しみながら学びを深めました。



全国中学校体育大会 出場選手たちが健闘を誓う

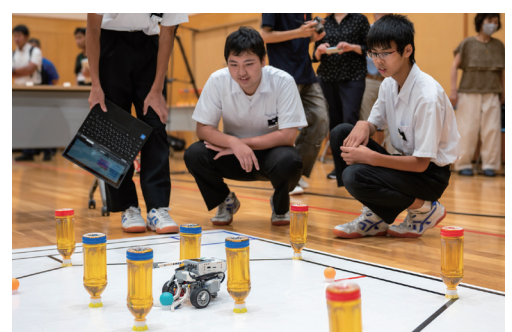
7月の県中学校総合体育大会や8月の四国中学校総合体育大会で、優秀な成績を収めた市内中学校の選手たちが、8月に長野県などで開催された「全国中学校体育大会」に出場しました。大会を前にした8月16日に篠原市長を表敬訪問し、全国大会に懸けるそれぞれの思いを伝えた選手たち。篠原市長は「今まで積み重ねてきたことを十分に発揮し、悔いが残らないよう全力で頑張ってください」と、選手たちを激励しました。

柔道（右写真）篠原蒼依さん（川之江南中3年・写真中央）、木下和雄さん（三島西中3年・同右）、高橋音さん（三島南中2年・同左）
バスケットボール（左写真）土居中学校女子バスケットボール部（主将川上由莉さん・写真前列中央）



ジュニアオリンピックで 瀬戸丸遥さんが全国制覇

7月に埼玉県で開催された「全日本ジュニアテコンドー選手権大会」に出場した、烈蹴会（土居町野田）所属の瀬戸丸遥さん（土居中2年）が見事優勝を果たしました。9月9日に篠原市長を表敬訪問し、優勝報告をした瀬戸丸さん。「二連覇を目指します」と、次回大会への抱負を述べました。



救助ロボットを製作せよ SMART2024四国大会開催

8月3日、四国内の中高校生が自律移動型ロボットの製作やプログラミングを競う「SMART」が金生公民館で開催されました。大会の課題は「救助活動」。選手らは、製作したロボットにペットボトルのがれきをよけさせたり、ピンポン玉の支援物資を運ばせたりして、ポイントを競いました。